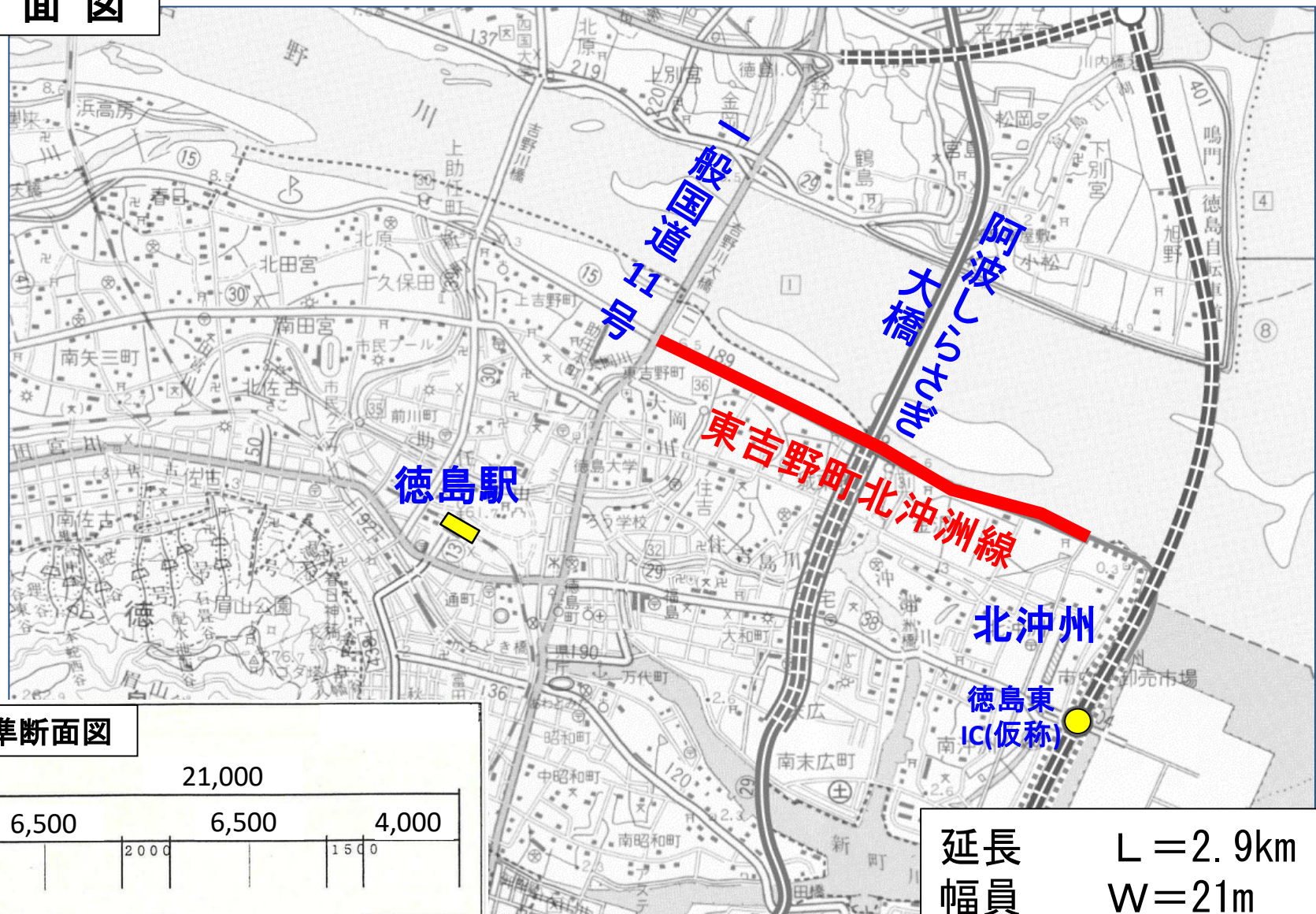


再評価【番号6】

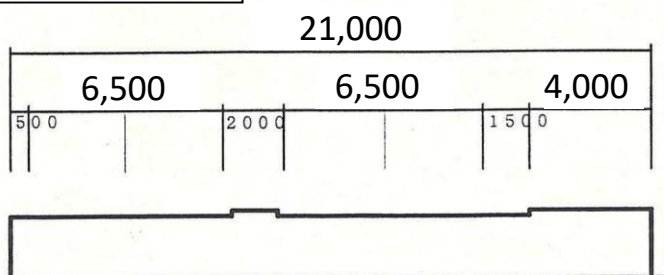
都市計画道路 東吉野町北沖洲線

1. 事業概要

平面図



標準断面図



延長	L = 2.9km
幅員	W = 21m
事業費	C = 132億円

1. 事業概要

現況

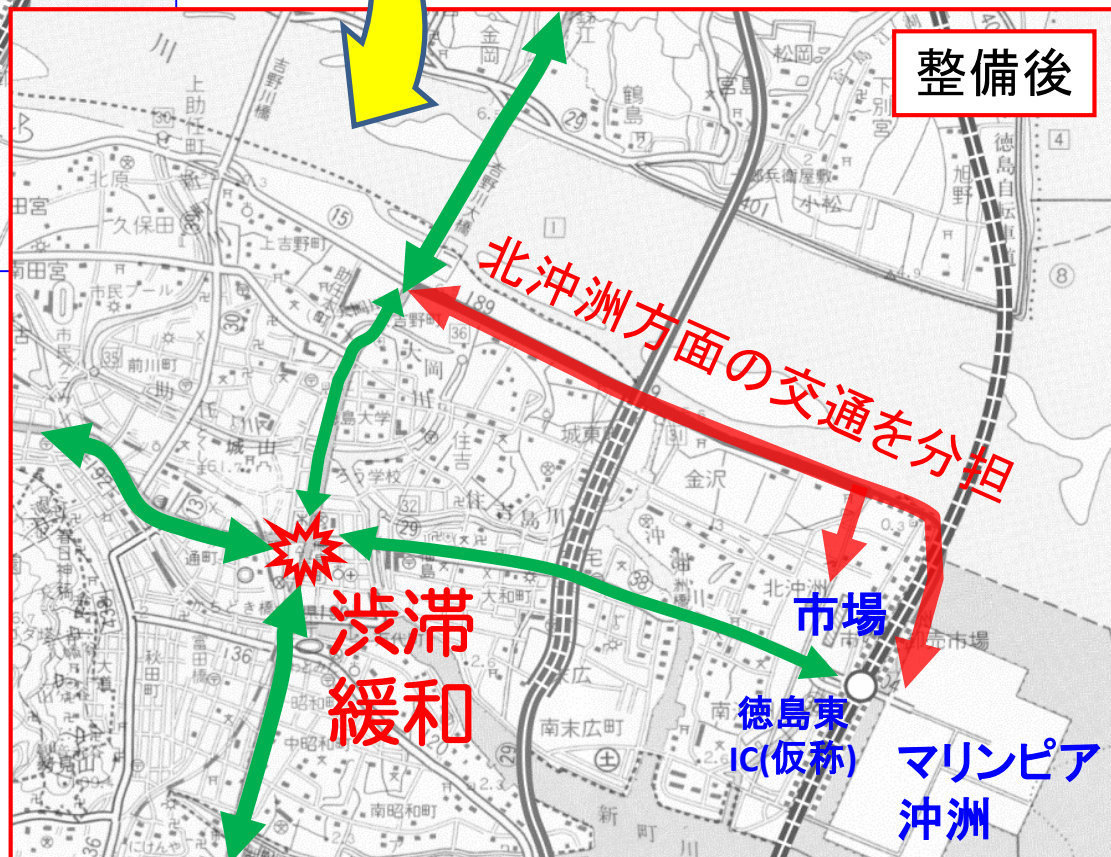
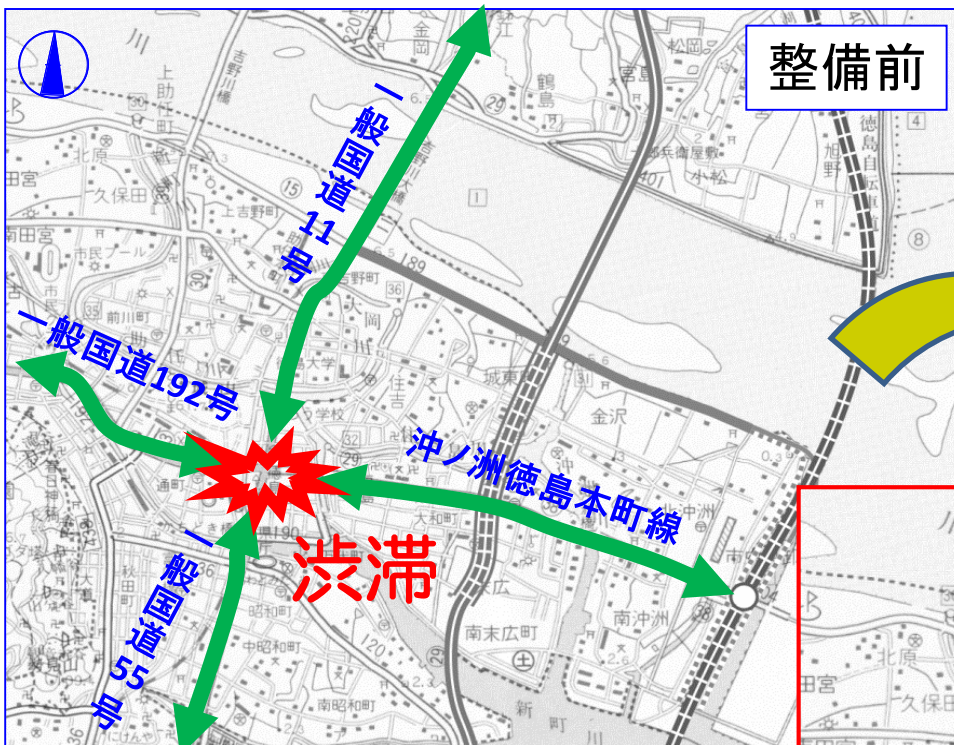


事業化前

(東端付近 H16.6.22)



2. 道路交通上の課題



本町交差点付近
(H29年 交通事故 県内最多)

3. 事業の進捗状況(全体)

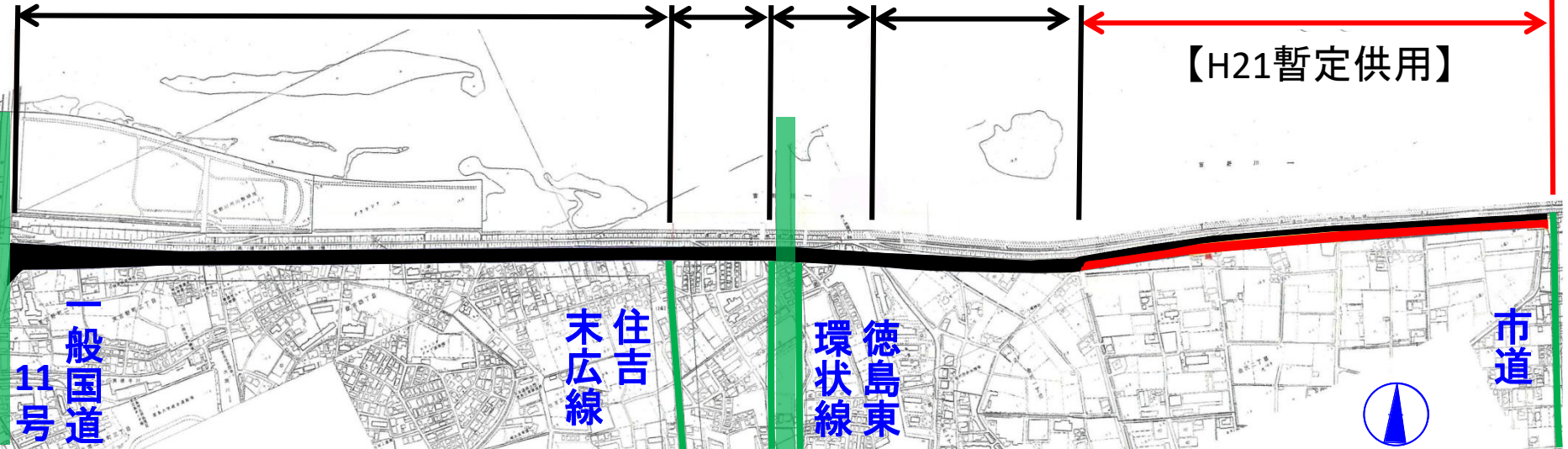
《進捗率》
事業費：93%・用地：94%

H10供用
(1.2km)

H15供用 (0.2km) H17供用 (0.2km) H21供用 (0.4km)

未完成区間
(0.9km)

【H21暫定供用】

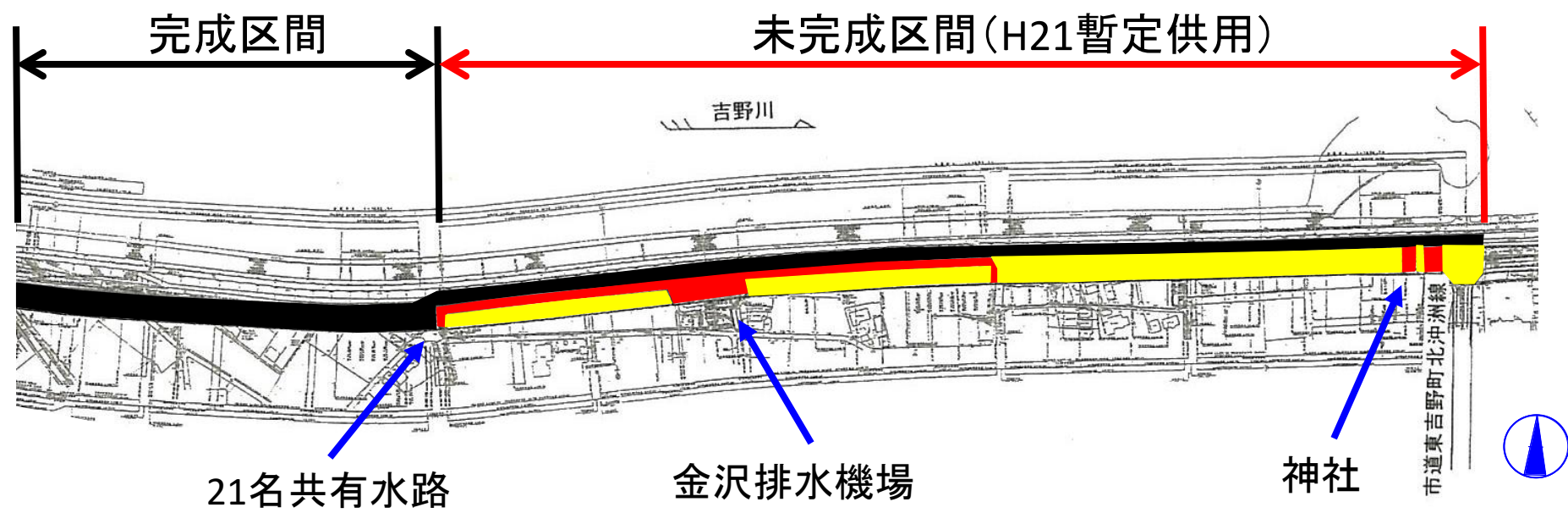


H15供用区間



未完成区間

3. 事業の進捗状況(未完成区間)



21名共有水路



金沢排水機場



神社

4. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

- ・ 走行時間短縮便益
 - ・ 走行経費減少便益
 - ・ 交通事故減少便益
- 計 **385.7億円**
(現在価値化後)



その他の便益

計 **74.4億円**
(現在価値化後)

医療

- ・ 救命率の向上効果 34.4億円

環境

- ・ 大気汚染や温暖化防止効果 6.8億円
- ・ 騒音低減効果 33.2億円

※費用C=262.0億円 (現在価値化後)

$$B/C = 1.5$$

(参考) その他の便益を含む $B/C = 1.8$

貨幣価値に表れない整備効果

防災・減災

- 災害時の復旧・支援の強化
⇒ 活動拠点間等のアクセス道
- 緊急輸送道路の補完
⇒ 緊急輸送道路の代替路線

安全・安心

- 大型車交通を郊外に転換
⇒ 歩行者・自転車の安全性向上

産業振興

- 物流の効率化等
⇒ マリンピア沖洲や中央卸売市場、
徳島東IC(仮称)へのアクセス性向上

5. 道路整備による多様な効果①【貨幣価値換算可能な整備効果】

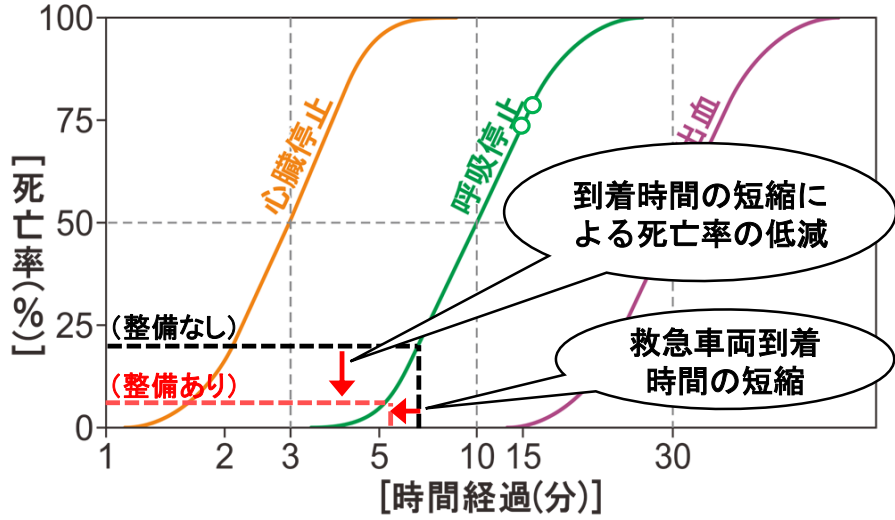
◎その他の便益

医療

■ 救急医療へのアクセス向上

- 救急車両到達時間の短縮により、救命率が向上

【カーラーの救命曲線】



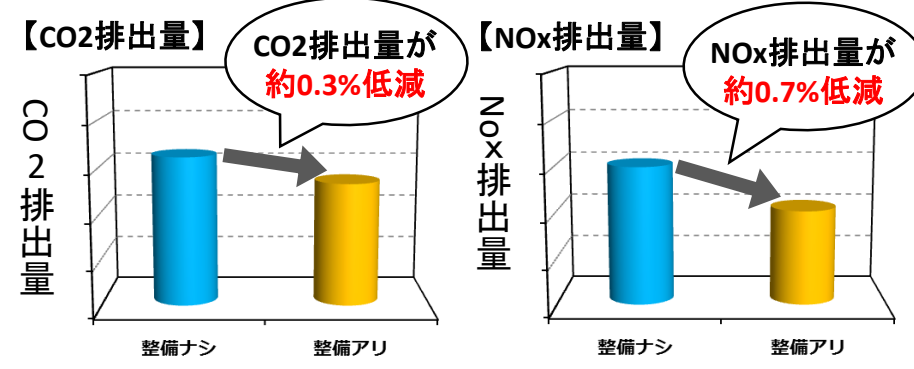
- 呼吸停止後の死亡率が約18%低減

救命率の向上効果 : 34.4億円

環境

■ 地球環境の保全

- CO₂、NOxの排出量抑制により、大気汚染・温暖化の防止に寄与



大気汚染・温暖化防止効果: 6.8億円

■ 騒音低減

- 現道の交通が本路線に転換することにより、現道沿いの騒音が低減

騒音低減効果: 33.2億円

5. 道路整備による多様な効果② 【貨幣価値に表れない整備効果】

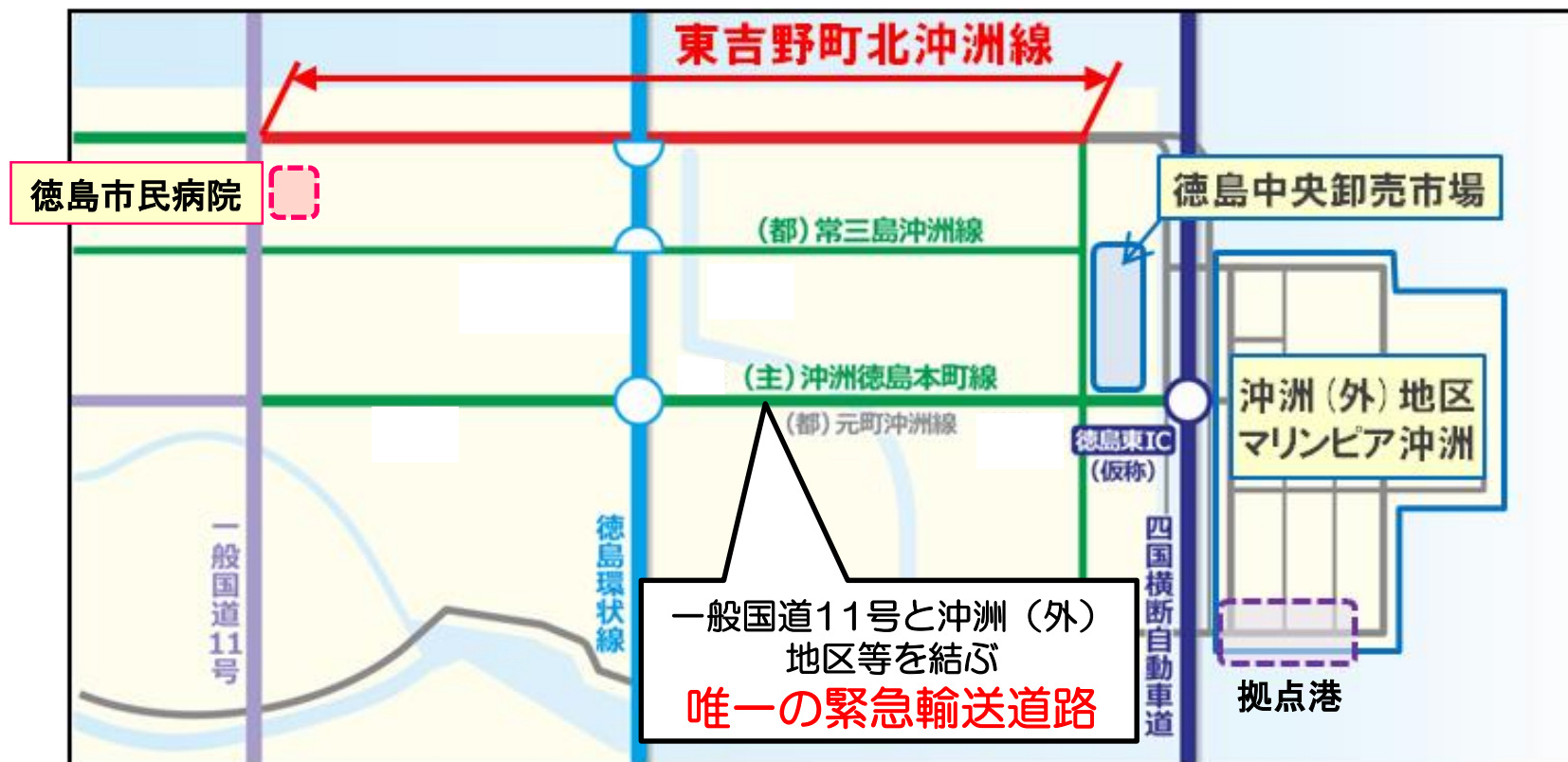
【防災・減災】

①災害時の復旧・支援の強化

活動拠点間や拠点病院・拠点港のアクセス道

②緊急輸送道路の補完

沖ノ洲徳島本町線の代替路線(多重性)



5. 道路整備による多様な効果③ 【貨幣価値に表れない整備効果】

【安全・安心】

○大型車交通を郊外に転換
**自転車利用者、
歩行者の安全性向上**

【産業振興】

○アクセス性向上
**物流の効率化、
地域経済の活性化**



6. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

- ・ 走行時間短縮便益
 - ・ 走行経費減少便益
 - ・ 交通事故減少便益
- 計 **385.7億円**
(現在価値化後)



その他の便益

医療

- ・ 救命率の向上効果 34.4億円

環境

- ・ 大気汚染や温暖化防止効果 6.8億円
- ・ 騒音低減効果 33.2億円

※費用C=262.0億円 (現在価値化後)

$$B/C = 1.5$$

(参考) その他の便益を含む $B/C = 1.8$

貨幣価値に表れない整備効果

防災・減災

- 災害時の復旧・支援の強化
⇒ 活動拠点間等のアクセス道
- 緊急輸送道路の補完
⇒ 緊急輸送道路の代替路線

安全・安心

- 大型車交通を郊外に転換
⇒ 歩行者・自転車の安全性向上

産業振興

- 物流の効率化等
⇒ マリンピア沖洲や中央卸売市場、
徳島東IC(仮称)へのアクセス性向上

■ 今後の対応方針(案)

事業継続